

「健康な食事・食環境」コンソーシアム会議および第5回認証審査会議事要録

日 時：2021年6月20日（日）10:00～13:30

場 所：WEB会議（Zoom）

出席者：（各学会等代表者）武見ゆかり（日本栄養改善学会） 赤尾正（日本給食経営管理学会）
早瀬仁美（日本高血圧学会） 綿田裕孝（日本糖尿病学会） 津下一代（日本肥満学会）
岡田邦夫、濱田千雅（健康経営研究会） 助友裕子（日本健康教育学会） 長井美穂（日
本腎臓学会） 吉田 博（日本動脈硬化学会） 笛木賢治（日本補綴歯科学会） 武藤倫
弘、若林敬二（日本がん予防学会）

オブザーバー

（日本栄養改善学会食環境整備委員会 外食中食部門審査 WG）赤松利恵、串田修
（外食・中食部門審査 WG）町田大輔
（日本給食経営管理学会 給食部門審査 WG）市川陽子、太田淳子
（日本栄養改善学会食環境整備推進委員会 給食部門審査 WG）石田裕美
（給食部門審査 WG 補助）蛭名果歩
（事務局関係者）土屋 文

欠席者：梅澤光政（日本公衆衛生学会） 6月19日個別に説明・意見徴収
由田克士（日本産業衛生学会）

1. 開会：出席者自己紹介の後、議事に入った。

議長は規約に基づき、世話役の日本栄養改善学会 武見ゆかりが務めた。

2. 「健康な食事・食環境」コンソーシアム会議

1) 第5回認証制度 応募状況及び技術審査結果について

応募件数は152件（外食：29件、中食：22件、給食：101件）であった。

形式審査及び技術審査において、取り下げ、部門変更等があり、本審査の件数は146件（外食：27件、中食：22件、給食97件）と報告された。

参考として、第1回～4回の応募・認証件数が示され、コロナ禍にもかかわらず、各部門とも過去に比べ、最も多い応募件数であったことが報告された。また、認証星数（予定）では、2つ星認証が多い傾向にあることが示された。

2) 第2・3回認証事業者更新状況について

第2回・3回認証事業者の更新状況について WG より説明があった。第2回認証事業者は、昨年更新済の事業者を除く事業者が対象との説明があった。

3) コンソーシアムの決算および予算について

2020年度（2020年8月1日～2021年7月31日）中間決算の報告があり、収入は賛

助会員の入会は予算額を達成したが、全体としては赤字決算になる見込みとの報告があった。

2021 年度予算案について、来年より徴収する審査料・更新料の減免申請を考慮した試算方法の説明があり、審議の結果、承認された。審査料減免の条件について、以下のよう

- ① 災害で被災した等の正当な理由で事業者が減免を申請した場合。
- ② 小規模企業者が、適切な理由（例えば、同居親族のみで運営している、あるいは前年度比 50%以下などを示して減免を申請した場合。
- ③ その他、審査 WG で認められた場合

4) 厚生労働省「スマート・ライフ・プロジェクト (SLP)」との連携について

SLP の WEB サイトで「スマートミール探訪」のインタビューが行われ、公開されているとの報告があった。令和 2 年度は、コロナ対応として厚生労働省の意向で中食・給食部門のみであったが、今後、外食部門も紹介する予定と報告された。

5) 経済産業省「ヘルスケアサービスガイドライン」の改訂に伴う今後の対応について

昨年宣言書の提出について承認され、現在、経済産業省のホームページにも掲載されているが、今回、ガイドライン改訂の連絡があったことが報告された。改訂内容について審議の結果、コンソーシアムによる本認証制度は、元々事業者団体によるものではなく、第三者認証であり、改訂内容に該当しない点があることを経済産業省に伝え、理解を得ることとなった。

6) 厚生労働科学研究 林班（「健康な食事」の基準の再評価と基準に沿った食事の調理・選択に応じた活用支援ガイドの開発）との連携について

分担研究者である赤松氏より研究成果の概要について報告があった。

7) 本認証制度の普及啓発の進め方（いかに認知をあげるか）

(1) 認証事業者によるイベント企画への後援や共催依頼

認証事業者よりイベント後援の相談が事務局にあったことを受け、議論が行われた。後援或いは共催の依頼に関して、以下のプロセスにより可否を決めることとした。

- ・後援の場合：審査 WG で企画案を審議、後援の可否を決定 →コンソーシアムに報告
- ・共催の場合：審査 WG で企画案を審議、企画内容の適正さを判断 →コンソーシアムでメール審議

(2) ウィキペディア掲載について

ウィキペディアにスマートミールの項目が掲載されていると報告があった。

8) 認証項目の基準（項目）の見直し

(1) 審査項目 オプション 8, 9 主食の精製度の低い穀類の扱い

WGより、最近、精製度の低い穀類のみを提供している事業者が増え、チェック方法について問い合わせが多くあると報告があった。検討の結果、第6回応募に向け、基準の表現を変え整理することとなった。

(2) 環境面に配慮したオプション項目追加の検討

厚生労働省「自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会（令和3年2月～6月）」における食環境づくりの考え方を受け、第6回若しくは第7回応募に向けて、環境面に配慮したオプション項目の追加を検討することとなった。

3. 第5回応募事業者の認証審査

外食・中食部門 WG 赤松代表より個別の申請資料を基に、応募内容の説明があり、外食部門、中食部門の認証事業者が決定した。

次に給食部門 WG 市川代表より給食部門の第5回応募事業者について説明があり、認証事業者が決定した。

【第5回認証】

| | 合計 | 外食 | 中食 | 給食 |
|-------|------|-----|-----|------|
| 応募件数 | 152件 | 29件 | 22件 | 101件 |
| 本審査件数 | 146件 | 27件 | 22件 | 97件 |
| 審査後認証 | 145件 | 28件 | 22件 | 95件 |

第1～5回認証事業者総数は、536件（外食107件、中食66件、給食363件）となった（第4回までが419であったので、117件増）。

4. 第2回更新事業者の認証審査

外食・中食部門 WG 赤松代表より更新内容について説明があり、オプション項目などの変更はなく、約70%以上の事業者から更新申請があったと報告があった。

次に給食部門 WG 市川代表より更新内容について説明があり、第2回認証49事業所（約67%、前回更新と合わせて約79%）、第3回認証78事業所（約89%）から更新申請されたと報告があった。今回オプション項目の変更で、星の数が増えた15事業所について説明があり、審議の結果、認証された。

【更新】

| | 第2回認証 | 第3回認証 |
|----|----------------|----------------|
| 外食 | 24/31件 (77.4%) | 15/22件 (68.1%) |
| 中食 | 11/14件 (78.6%) | 7/8件 (87.5%) |
| 給食 | 58/73件 (79.5%) | 78/88件 (88.6%) |

81.8%(193/236) が更新

最後に新規・更新ともに認証期間の確認があり、閉会となった。

認証期間 2021年8月1日～2023年7月31日

以上